

SAMSON®

DYNAMIC BROADCAST MICROPHONE

Q9U

取扱説明書 Ver.1.00



概要

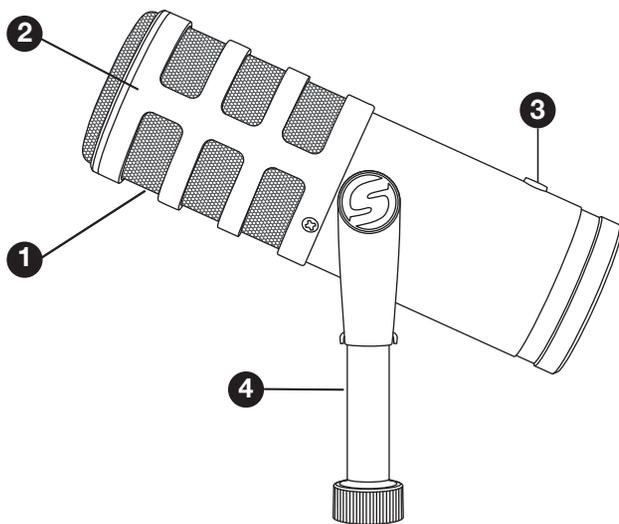
Q9Uはハムバッキング・ダイナミック・ネオジウム・カプセルを搭載し、外部からのゲインブーストを必要とせず、あらゆる用途に対応できる十分な出力を提供します。アナログXLR出力により、標準的なミキサーやオーディオ・インターフェイスに接続でき、USB-C接続により、ドライバーなしでPCへ接続可能。24bit/96kHzアナログ/デジタル・コンバーター、ゼロ・レイテンシーのヘッドホン出力、オンボードのミュート・スイッチなどの機能を搭載、ローカットとミッドプレゼンス・ブースト・コントロールにより、本体でサウンドを調整できます。内部の空気圧式ショック・マウントは機械的なノイズを軽減し、単一指向性により周囲のノイズを防ぎ、原音を忠実に捉えます。付属のフォームウィンドスクリーンを装着すると、ポップノイズやブレスノイズをより軽減できます。

主な用途

- ・ポッドキャストイング
- ・放送
- ・ストリーミング
- ・音楽制作
- ・音楽ライブ
- ・ナレーション収録



各部の名称



①メタル・ウインドスクリーン

デュアル・ステージ・グリルがカプセルを保護し、風切り音やポップ音を低減します。

②カプセル・エレメント

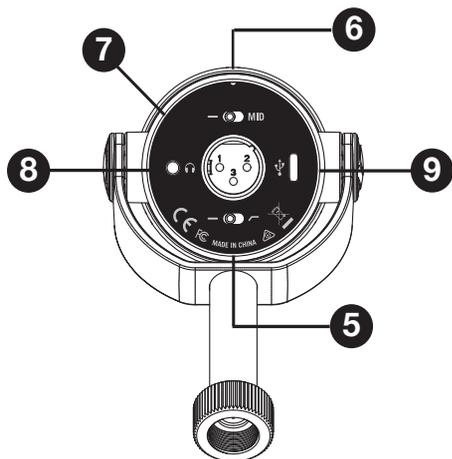
ノイズを抑えるためのハムバッキング技術を採用。ネオジム磁石を使用した高感度なカプセルを搭載したダイナミックマイクです。単一指向性で内部にショックマウント機構が搭載されているため、効率的にノイズを抑制します。

③ミュートボタン

XLRとUSB出力端子に送られる信号をミュートします。ヘッドホンに送られるマイク信号もミュートされます。

④一体型スタンドマウント

回転式のヨークマウントは、放送、Vlog、ナレーション収録などの用途を考慮した設計です。また、ノブを回すだけで、標準的なマイクネジのあるスタンドに簡単に取り付けられます。



⑤ローカット・スイッチ

200Hz で低域が 3dB カットされます。音声が濁っていたり、低音が重すぎると感じる場合に使用します。

⑥MIDスイッチ

オーディオ信号の中域が強調されます。スピーチやトークに最適です。

⑦XLR出力コネクター

マイクレベルの信号に対応するミキサーや他の入力機器に音声を送信するXLRオスコネクターです。

⑧ヘッドホン出力

ゼロレイテンシー・モニタリング用3.5mmヘッドホン出力ジャック。

イヤホン、ヘッドホン、またはスタジオ・モニター・スピーカーに接続できます。

⑨USB接続

WindowsまたはMacと接続するためのUSB Type-Cコネクタです。

注意：スマートフォンやタブレットを使用する場合は、本機を正しく機能させるためにUSBハブからの電源供給が必要です。

クイックスタート・ガイド

- 1.使用用途に応じて、Q9Uをマイクスタンドに取り付けます。
- 2.マイク本体の端にあるヘッドホン出力にヘッドホンを接続します。
- 3.付属のUSBケーブルを使用し、Q9UとPCのUSBポートを接続します。
- 4.後述の「Windows/macOSセットアップ」の説明を確認して、Q9Uを入力および出力オーディオデバイスとして設定します。
- 5.任意のレコーディング・ソフトウェアを起動します。
- 6.用途や好みに応じて、ローカットとMIDスイッチを設定します。
- 7.DAWでオーディオトラックを作成します。
注:入力名はソフトウェアによって異なります。

- 8.トラックを録音待機状態にします。
- 9.後述の「レベルの設定」セクションを確認し、マイクの入力レベルを設定します。
- 10.後述の「ダイレクトモニター」セクションを確認し、ダイレクトモニター設定を行います。
- 11.Q9Uで歌ったり話したり、楽器を演奏したりしながら、DAWの入力ゲインを調整し、音声出力が適切なレベル（クリッピングや歪みがない状態）になるまで調整します。
注:「こもった」音が聞こえる場合は、Q9Uのサンプルレートがソフトウェアと一致していない可能性があるため、後述の「Windows & macOS」のセクションを確認してください。
- 12.録音ボタンを押して、録音を開始します。

Windowsセットアップ

- 1.付属のUSBケーブルを使ってQ9UをWindowsPCに接続します。
- 2.スタートメニューから、「設定」→「システム」→「サウンド」を開きます。
- 3.入力と出力の設定で、オーディオ・デバイスとして「Samson Q9U」を選択します。
- 4.音楽を再生しながら、ヘッドホン出力が快適な音量になるまでマスターボリュームを調整します。
- 5.マイクの録音レベルを調整するには、「入力」セクションで「デバイスのプロパティ」をクリックします。
- 6.「テスト開始」を押し、録音レベルを確認します。

- 7.通常の音量で話しながら、「ボリューム」スライダーを調整し、レベルを確認してください。
注:この調整ではSamson Q9Uの内部プリアンプレベルを調整します。
- 8.「テスト終了」を押し、ピークレベルを確認します。レベルは50%を超えないように設定します。
- 9.マイクのゲインをdB(デシベル)で確認するには、「追加のデバイスプロパティ」→「レベル」タブをクリックし、数値ボックス内を右クリックして「デシベル」を選択します。
注:このスライダーのレベルは、ボリュームスライダーと同じ音量レベルを示します。

macOSセットアップ

1. 付属のUSBケーブルを使用して、Q9UをMacに接続します。
2. DockまたはAppleメニューからシステム環境設定を開きます。
3. サウンドのアイコンを選択し、入力タブをクリックして「Samson Q9U」を選択します。
4. 出力タブをクリックし、「Samson Q9U」を選択して出力デバイスとして設定します。
5. サンプルレートを設定するには、アプリケーション・フォルダからユーティリティ・フォルダを開き、Audio MIDI設定を起動します。
6. ウィンドウメニューから「オーディオ装置を表示」を選択します。
7. 「Samson Q9U」を選択します。
8. フォーマットのドロップダウンメニューから、希望するサンプルレートとビット深度を選択します。

ダイレクトモニター機能

Q9Uには、ヘッドホンをQ9Uのヘッドホン出力ジャックに直接接続するだけで、ゼロレイテンシーのモニタリングを提供するダイレクトモニターシステムが搭載されています。

「レイテンシー」とは

録音と同時にモニタリングを行う際に、録音した音声が生再生されるまでの遅延時間のことです。PCがその音声データを処理するために生じる遅れです。

この遅れは、PCの処理速度、録音したトラックの数、ソフトウェア内で使用しているエフェクトなど、さまざまな要因によって数ミリ秒から数十ミリ秒生じます。この遅れが長いと、ミュージシャンが正確なタイミングで演奏したり歌ったりすることが難しくなります。

この問題を解決するために、Q9Uはダイレクトモニタリング機能を備えており、PCを経由せずにマイクの音声を直接ヘッドホンに送り、レイテンシーなしで入力信号を聞くことが可能になります。

ミキサーやオーディオインターフェイスへの接続

1. Q9Uをマイクスタンドに取り付けます。
2. XLRケーブルを使用して、ミキサーまたはオーディオインターフェイスに接続します。
3. ミキサーまたはオーディオインターフェイスの取扱説明書に従って、入力ゲインを適切に設定します。

マイクの指向性

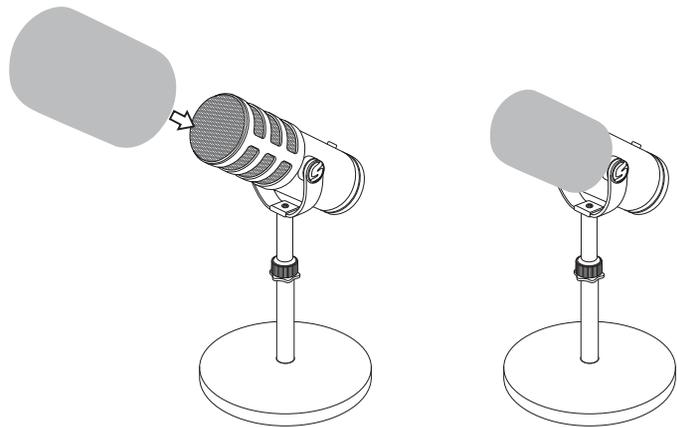
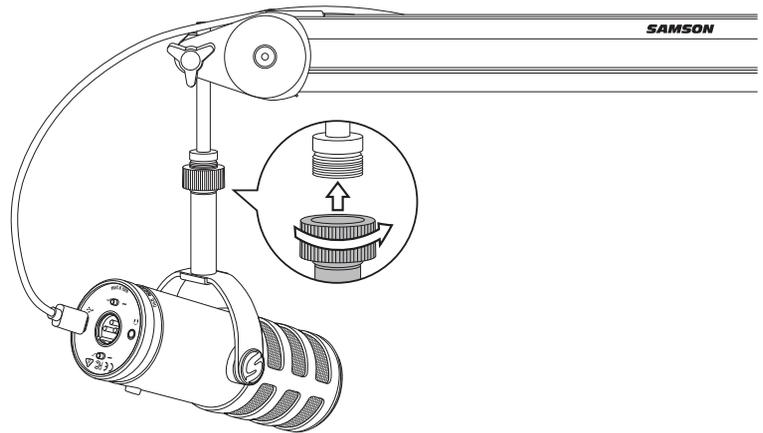
Q9Uは、単一指向性(カーディオイド)のダイナミックマイク・エレメントとハムバックコイルを搭載しています。

単一指向性は、スタジオやライブのマイキングに最も広く使用されています。これは、マイクの前方の音を拾い、側面や背面からの音を除去するため、スタジオで楽器の音を効率的に收音し、部屋の反響音よりも楽器の音をより多く拾います。この特性により、フィードバックを抑え、ライブサウンドにおいて音量をより大きくできます。

また、単一指向性のマイクは、近接効果と呼ばれる現象を起こします。近接効果とは、マイクカプセルの位置が音源に対して近くなるにつれて、マイクの周波数特性が変化する現象です。一般的に、マイクが音源に近づくと低域が強調されます。

マイクスタンド、ウィンドスクリーンの取り付け

右の図は、Q9Uをブームアーム (Samson MBA38) に取り付ける方法と、ウィンドスクリーンアクセサリーの取り付け方法をイラストにしたものです。ウィンドスクリーンは、スピーチやボーカル用途での使用をおすすめします。ウィンドスクリーンにより、「パ」行や「バ」行の硬い音を含む単語から発生する破裂音を効果的に除去できます。



マイクのセッティング

楽器演奏者やボーカリスト、その他の音源にマイクをセットする際は、マイクの配置を慎重に行う必要があります。

マイクは、パフォーマーの正面約10~30cmの距離に設置することをおすすめします。これにより、ボーカルパフォーマンスを正確に拾いながら、不要なバックグラウンドノイズを遮断できます。

マイクの配置に少し調整を加えるだけで、音のトーンが変わります。例えば、マイクを音源に直接向ける（オンマイク）と、低音と高音（周波数）をすべて拾います。マイクの入射角を音源から少し外す（オフマイク）と、高音が減り、低音が増えます。

ぜひ試行錯誤してみてください。経験と鋭い耳が、パフォーマンスを捉える助けとなります。学ぶための最良の方法は、実際にマイクを接続して録音、ストリーミング、ポッドキャストを開始することです。



仕様

エレメントタイプ	ハムバッキングコイル付きダイナミックマイク
周波数特性	50Hz~20kHz
指向性パターン	カーディオイド(単一指向性)
インピーダンス	250Ω
最大感度(XLR)	-57 dBV/Pa (1kHz)
最大感度(USB)	-16 dBFS/Pa (0 dBゲイン、1kHz)
自己ノイズ(USB)	+23 dB SPL(A) (最大ゲイン)
最大音圧レベル(SPL)	>140 dB SPL
ビット深度/サンプルレート	24ビット/最大96kHz
電源	USBバスパワー/170mA
アナログ出力	XLR(オス)
デジタル出力	USB-C
ヘッドホン出力/インピーダンス	3.5 mm(1/8 インチ)/16 Ω
ヘッドホン出力	38 mW @ 32 Ω
コントロール	ミュートボタン、ローカットスイッチ、ミッドスイッチ
本体構造/グリル	亜鉛合金/スチール
付属品	USB-C to USB-Cケーブル(2m)、USB-C to USB-Bケーブル(2m)、 ウインドスクリーン
製品寸法	直径 79.5 mm × 長さ 178.5 mm
製品重量	0.97 kg